

令和5年版



消防統計

西条市消防本部

目 次

令和5年の数字は**19%**

火災統計 1P

令和5年の数字は**12%**

救急統計 8P

令和5年の数字は**16%**

救助統計 13P

火災統計

- 令和5年火災概要

出火件数：21件

建物火災件数：15件

火災損害額：66,263千円



令和5年の数字は、

19%

令和5年は、たき火での出火原因が最も多く(4件)になりました。また、過去10年間の火災原因において、火災件数は減少傾向ではあるが、たき火が原因での火災は変わらず高い推移で発生しています。

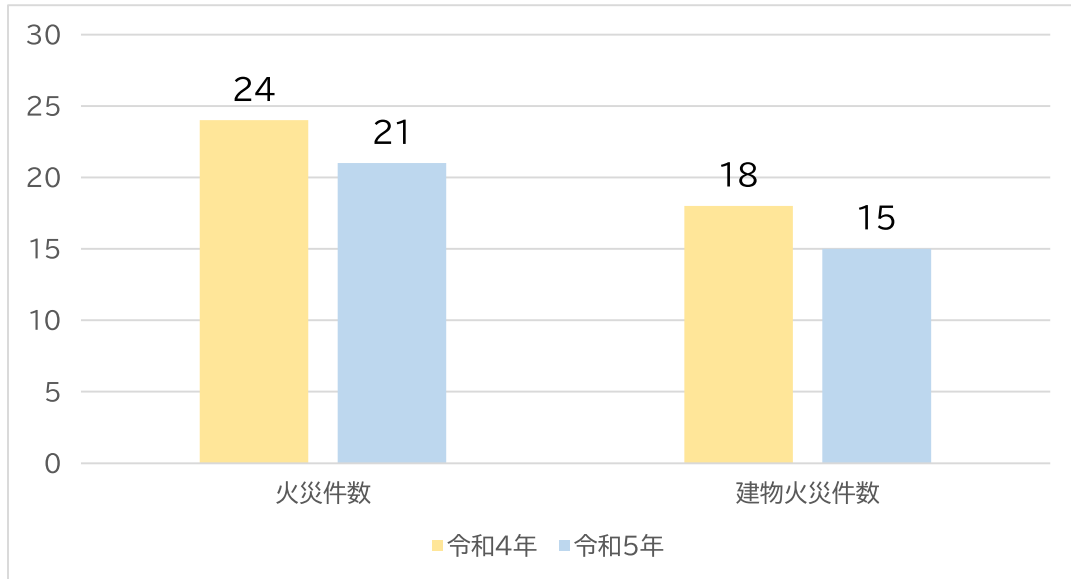
天候に関する不適切な判断(強風注意報等)や、少しの油断(火から目を離す等)から延焼につながっていることが多くなっており、火を取り扱う際には、細心の注意を払うよう心がけてください。

出火件数21件の内、たき火での火災件数は4件で19%

【令和5年 西条市火災統計】

1 火災概要

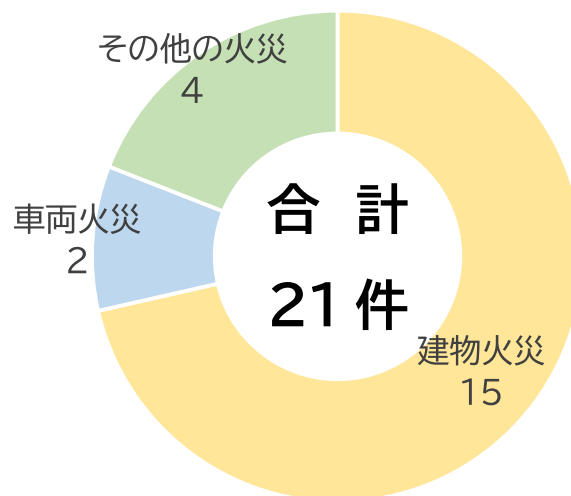
令和5年中における火災の状況は、火災件数21件(前年比3件減)、建物火災件数15件(前年比3件減)となっています。



2 火災状況

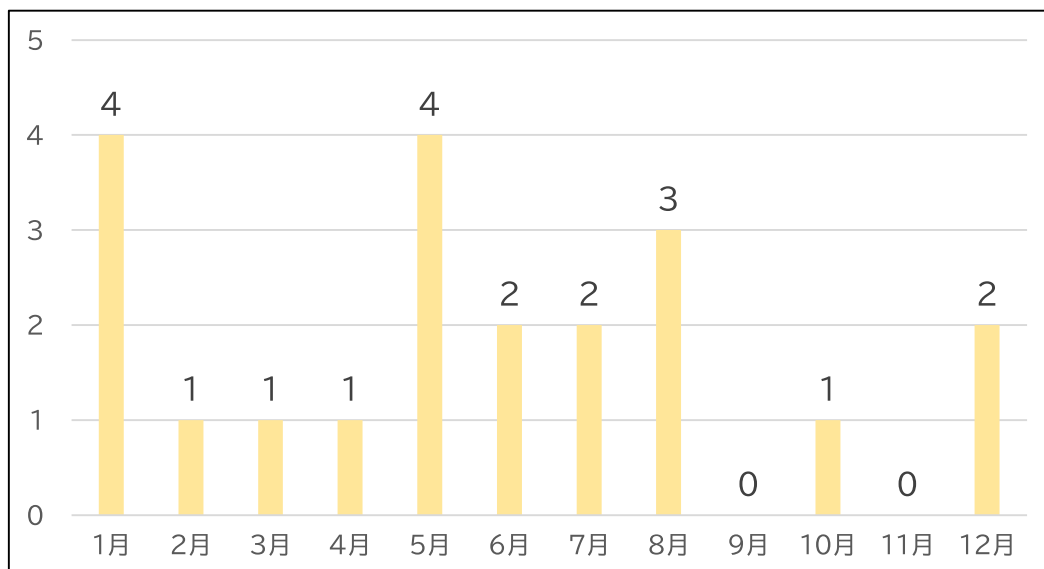
(1) 火災種別

火災種別ごとに件数をみると、建物火災が15件で約7割を占めており、次いでその他の火災が4件、車両火災が2件となっています。



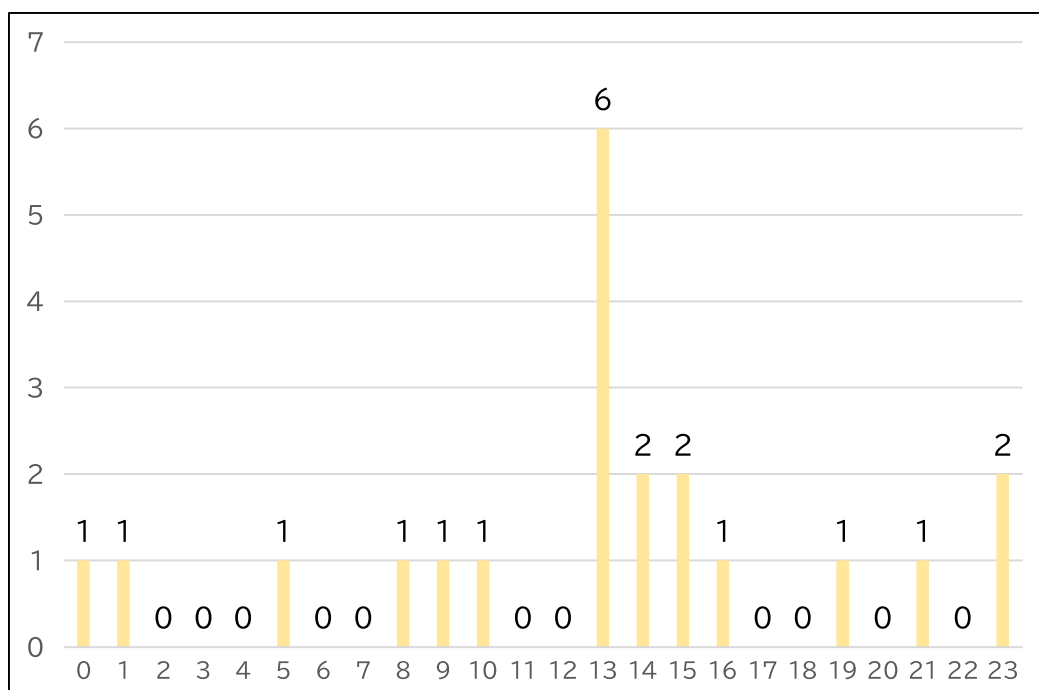
(2) 月別火災件数

火災件数を月別にみると、1月及び5月(4件)が最も多く、9月及び11月(0件)が少ない月となっています。



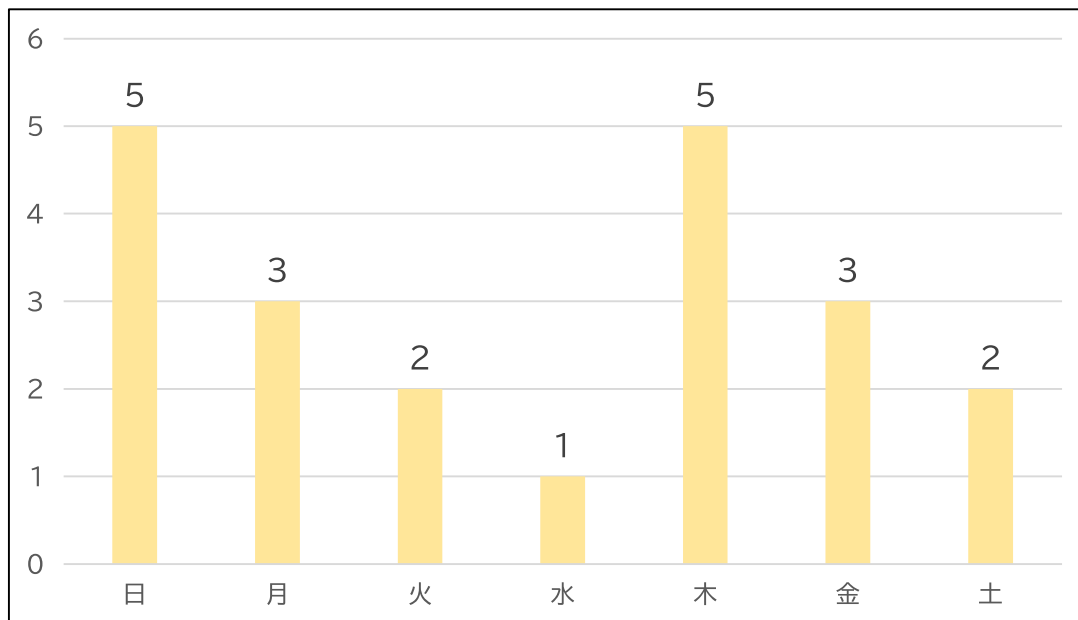
(3) 時間帯別火災件数

火災件数を時間帯別にみると、13時台(6件)が最も多く、昼間の活動している時間の出火が多い結果となっています。



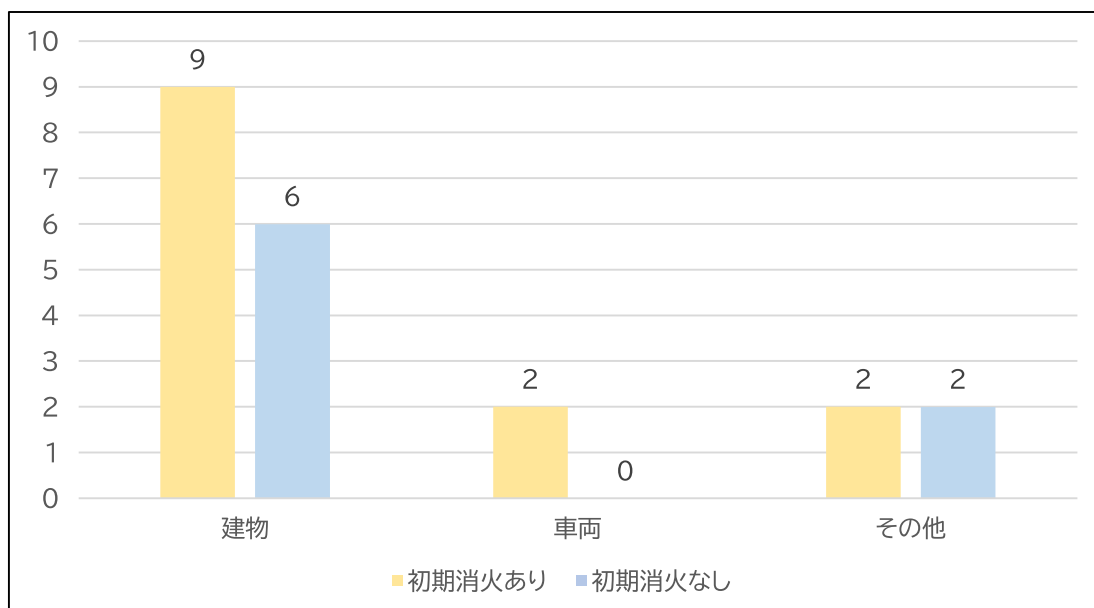
(4) 曜日別火災件数

火災件数を曜日別にみると、日曜日、木曜日(5件)が最も多く、次いで月曜日、金曜日(3件)となっています。

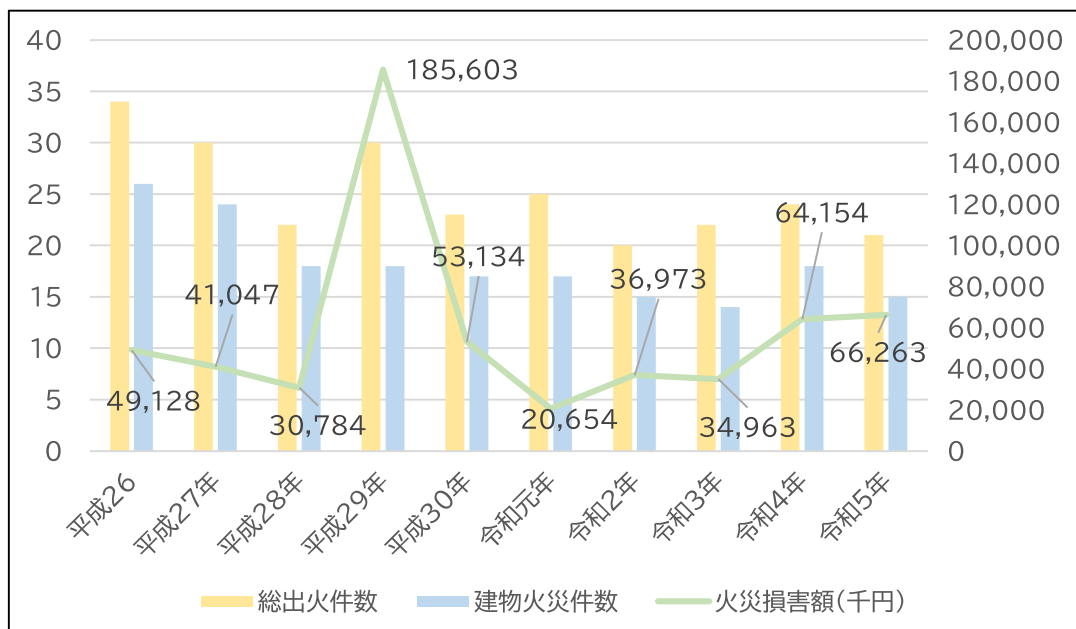


(5) 初期消火の状況

初期消火の状況を見ると、火災件数 21 件のうち、13 件は初期消火を実施しており、実施に至っていない件数については、8 件となっています。



(6) 過去 10 年の火災概況(総出火件数、建物火災件数、火災損害額)

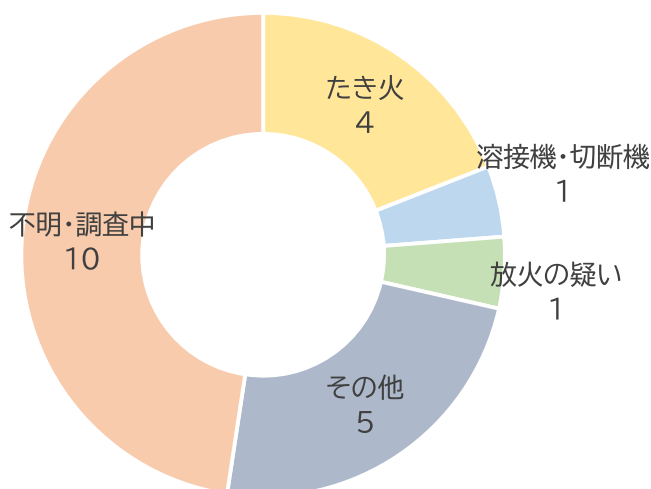


年	総出火件数	建物火災件数	火災損害額(千円)
平成26年	34	26	49,128
平成27年	30	24	41,047
平成28年	22	18	30,784
平成29年	30	18	185,603
平成30年	23	17	53,134
令和元年	25	17	20,654
令和2年	20	15	36,973
令和3年	22	14	34,963
令和4年	24	18	64,154
令和5年	21	15	66,263

(7) 令和5年の出火原因

令和5年の出火原因別にみると、たき火が4件で最も多く、次いで溶接機、切断機、放火の疑いが各1件となっています。

また、西条市の過去10年における出火原因をみると、たき火での出火が多くなっており、特に注意する必要があることがわかります。全国的にみても、近年では、たばこ及びたき火での出火が多くなっています。



西条市の過去 10 年における出火原因

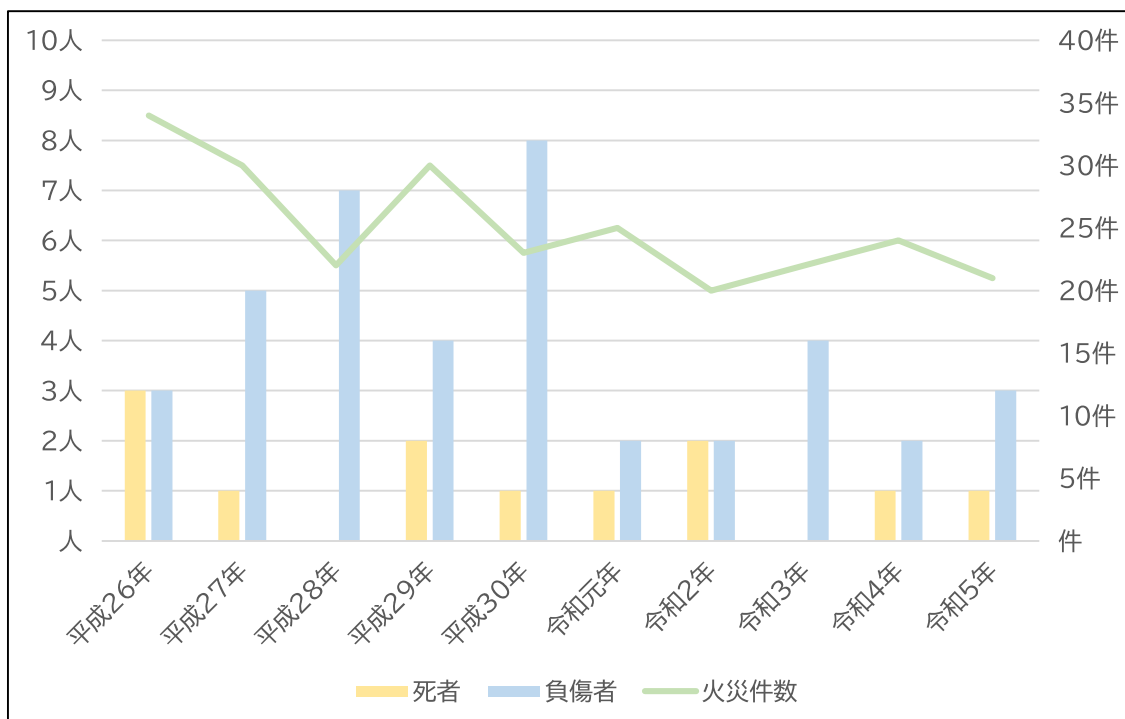
年	最も多い出火原因
平成26年	電気機器
平成27年	たばこ
平成28年	たばこ
平成29年	たき火
平成30年	たき火
令和元年	たき火
令和2年	たき火
令和3年	こんろ
令和4年	たき火
令和5年	たき火

近年における全国の出火原因

年	1位	2位
平成26年	ストーブ	たばこ
平成27年	電気機器の配線	ストーブ
平成28年	ストーブ	たばこ
平成29年	放火	たばこ
平成30年	たばこ	たき火
令和元年	たばこ	たき火
令和2年	たばこ	たき火
令和3年	たばこ	たき火
令和4年	たばこ	たき火

(8) 過去10年の死者、負傷者の状況

火災の件数は、減少傾向となっていますが、死者及び負傷者については、受傷頻度が変化していないことがわかります。

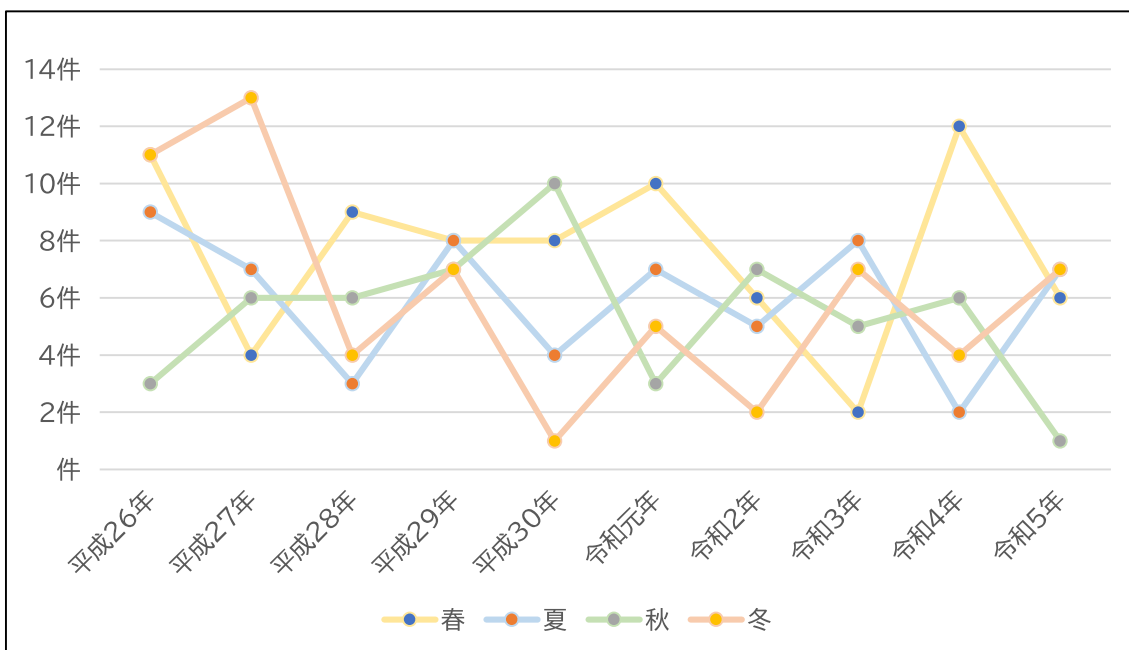


	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
死者	3人	1人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	1人	1人
負傷者	3人	5人	7人	4人	8人	2人	2人	4人	2人	3人
火災件数	34件	30件	22件	30件	23件	25件	20件	22件	24件	21件

(9) 過去10年の四季別火災件数

(春3月～5月、夏6月～9月、秋10月～12月、冬1月～3月)

四季別の火災件数を比較すると、令和5年では、夏及び冬が多くなっていますが、過去10年でみると、春の時期に出火件数が高い傾向にあることがわかります。



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
春	11件	4件	9件	8件	8件	10件	6件	2件	12件	6件
夏	9件	7件	3件	8件	4件	7件	5件	8件	2件	7件
秋	3件	6件	6件	7件	10件	3件	7件	5件	6件	1件
冬	11件	13件	4件	7件	1件	5件	2件	7件	4件	7件

救急統計

- 令和5年救急概要

出動件数 : 6925件

搬送人員 : 6157人



過去最多!



令和5年の数字は、

12%

西条市では、毎年救急件数が増加しています。

しかし、救急車を必要としない事案も増加しています。

令和5年は、出動件数に加えて、不搬送の件数(828件)が最多となり、出動件数のおよそ1割が不搬送となっています。

救急車の適正利用にご協力をお願いします。

出動件数6,925件の内、不搬送件数828件で12%

【令和5年 西条市救急統計】

1 救急概要

令和5年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数 6,925 件、搬送人員 6,157 人となっており、過去最多となりました。

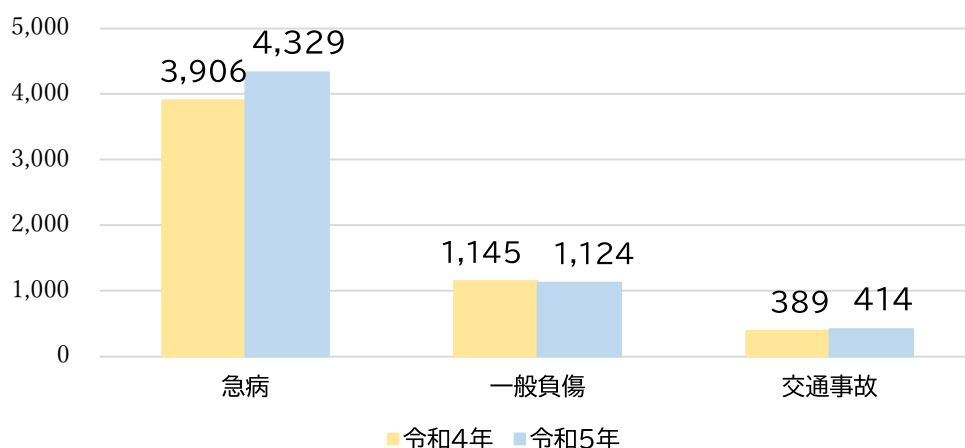
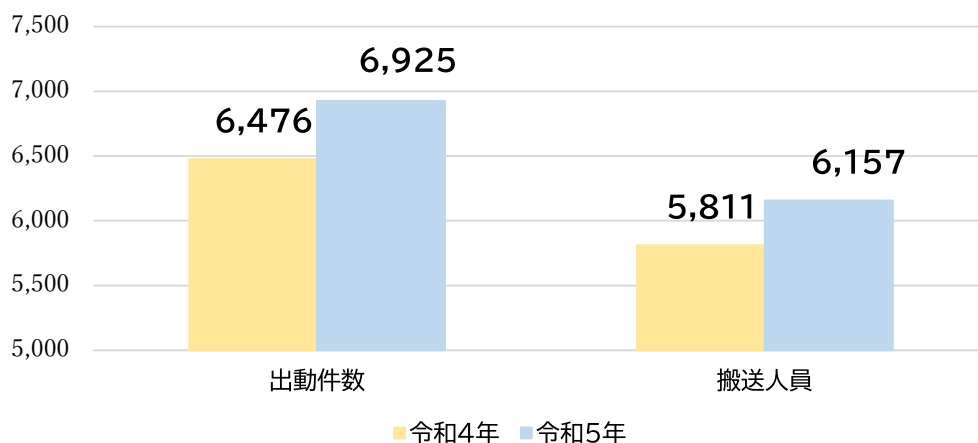
当市の1日当たりの救急出動件数は約 19.0 件、搬送人員は約 16.9 人となっており、これは、年間に市民の約 17 人に1人が救急搬送されたこととなります。

事故種別の第1位は急病の 4,329 件(62.5%)で、次いで一般負傷の 1,124 件(16.2%)となっています。

(1) 前年との救急件数・搬送人員の比較

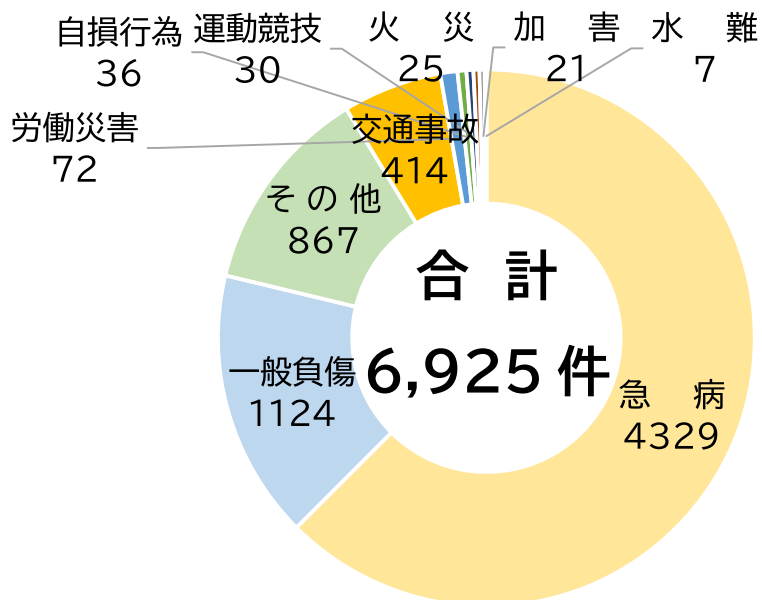
出動件数は前年比 449 件(6.9%)増加し、搬送人員も前年比 346 人(6%)増加しています。

事故種別でみると急病が 4,329 件で 423 件(10.8%)、交通事故 414 件で 25 件(6.4%)増加しており、一般負傷は 1,124 件で 21 件(1.8%)減少しています。



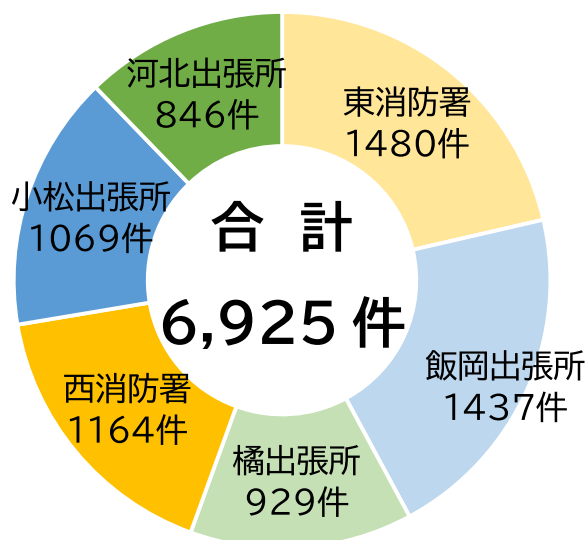
(2) 事故種別別の出動状況

事故種別別の内訳では、先に述べた急病、一般負傷、交通事故を除くとその他(転院搬送等)が多くなっており、次いで交通事故となっています。



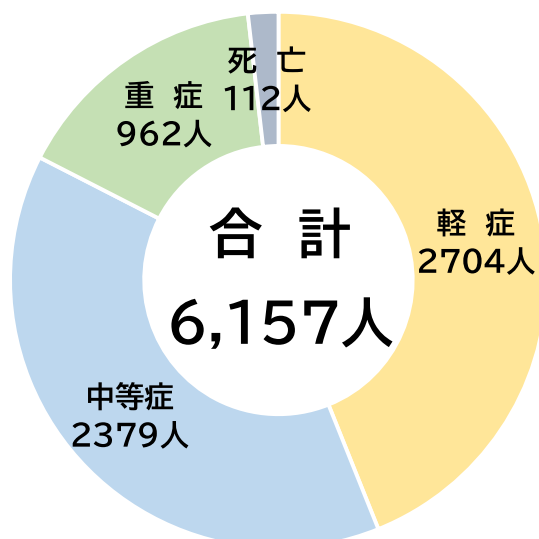
(3) 救急隊別の出動状況

東消防署では 1,480 件(21.4%)、次いで飯岡出張所は 1,437 件(20.8%)、西消防署は 1,164 件(16.8%)、小松出張所は 1,069 件(15.4%)、橘出張所は 929 件(13.4%)、河北出張所が 846 件(12.2%)となっています。



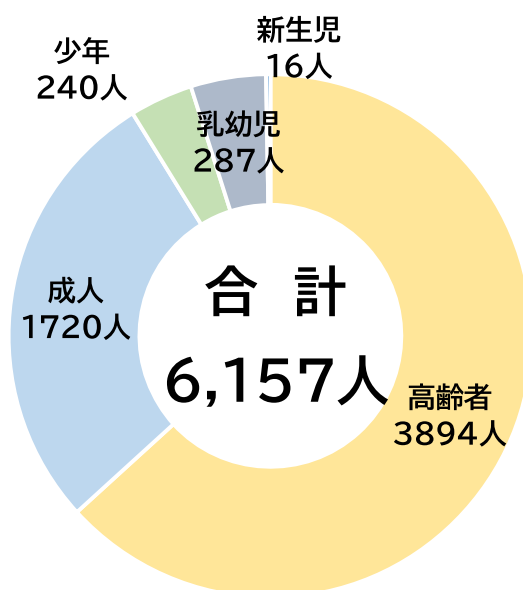
(4) 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,704 人(43.9%)と最も多くなっています。重症または軽症以外のものである中等症については 2,379 人(38.6%)、3 週間の入院加療を必要とする重症では 962 人(15.6%)となっています。

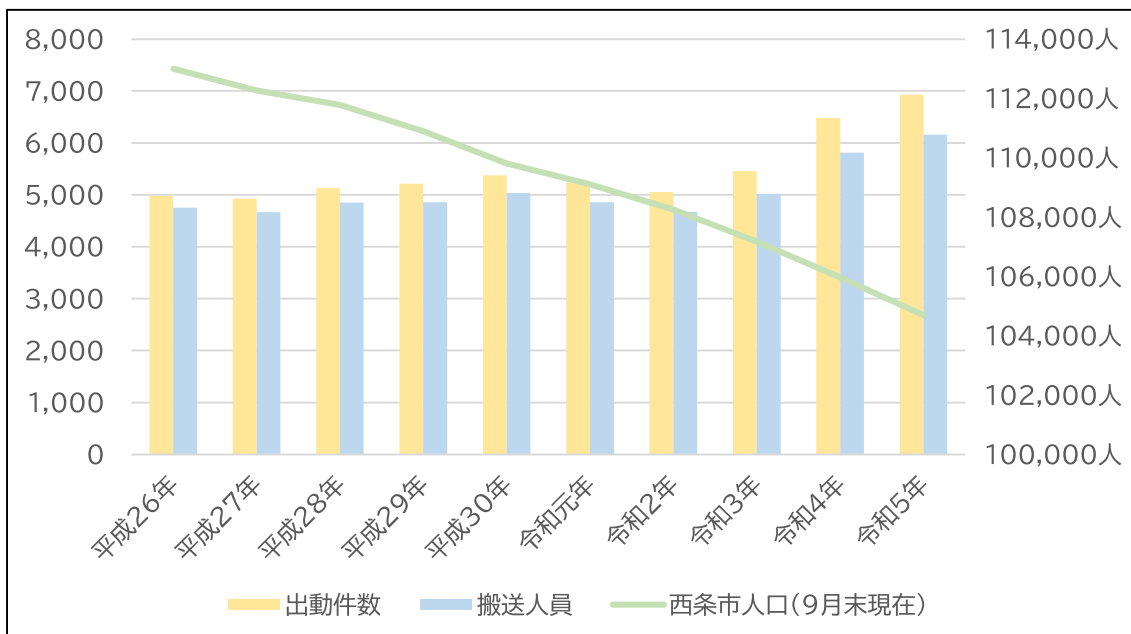


(5) 年齢別の搬送状況

高齢者(満 65 歳以上)が 3,894 人(63.2%)と最も多く、次いで成人の 1,720 人(27.9%)となっています。

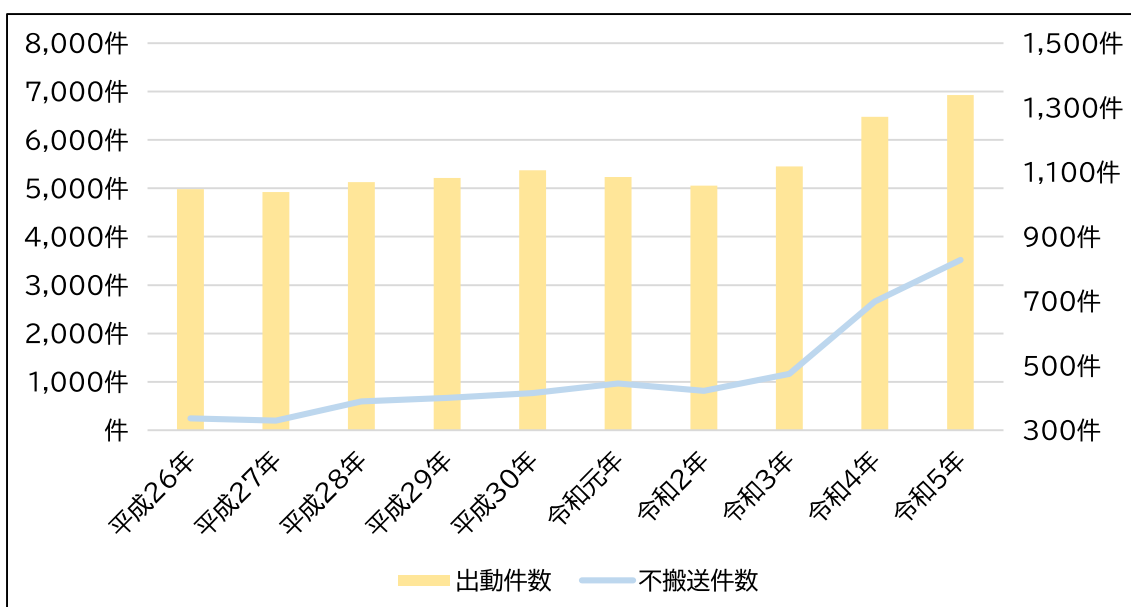


(6) 過去10年の救急出動件数及び搬送人員、西条市の人口の推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出動件数	4,981件	4,922件	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件
搬送人員	4,754人	4,664人	4,851人	4,855人	5,034人	4,859人	4,669人	5,019人	5,811人	6,157人
西条市人口	113,022人	112,215人	111,745人	110,887人	109,768人	109,071人	108,162人	107,052人	105,879人	104,655人

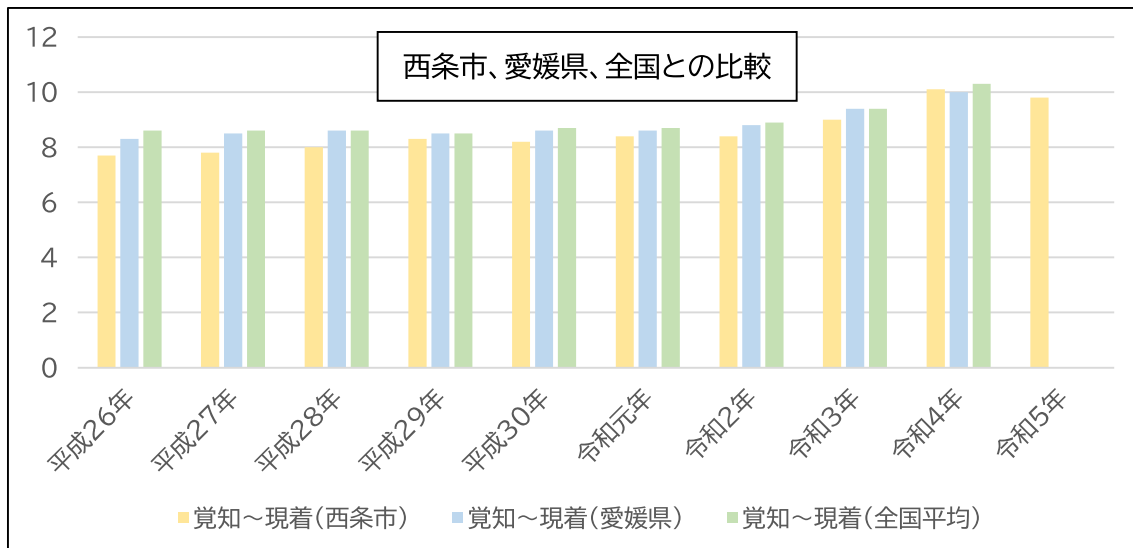
(7) 過去10年の出動件数、不搬送件数の推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出動件数	4,981件	4,922件	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件
不搬送	337件	330件	389件	400件	415件	445件	422件	475件	699件	828件

(8) 過去 10 年の覚知から現場到着までの所要時間の比較

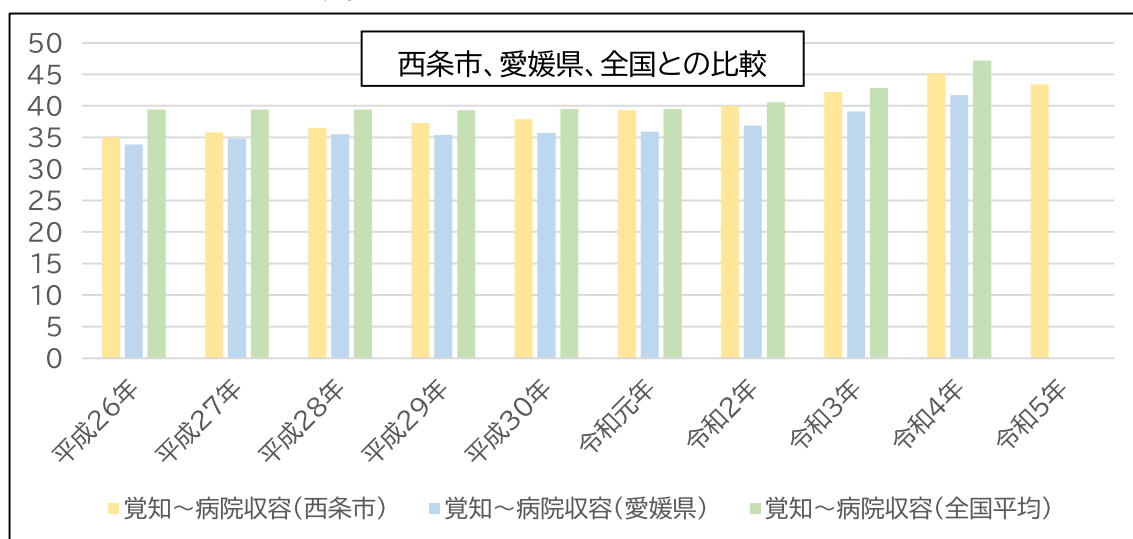
覚知から現場到着時間までの所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国ともに延伸傾向にあります。



分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
覚知～現着(西条市)	7.7	7.8	8.0	8.3	8.2	8.4	8.4	9.0	10.1	9.8
覚知～現着(愛媛県)	8.3	8.5	8.6	8.5	8.6	8.6	8.8	9.4	10.0	-
覚知～現着(全国平均)	8.6	8.6	8.6	8.5	8.7	8.7	8.9	9.4	10.3	-

(9) 過去 10 年の覚知から病院収容までの所要時間の比較

覚知から病院収容までの所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国平均において延伸傾向になっています。西条市と愛媛県を比較すると、県内の中でも病院収容までの時間を要する状況となっています。また、収容時間の差が開いていることがわかります。



分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
覚知～病院収容(西条市)	35.0	35.8	36.5	37.3	37.9	39.3	40.0	42.2	45.2	43.4
覚知～病院収容(愛媛県)	33.9	34.8	35.5	35.4	35.7	35.9	36.9	39.1	41.7	-
覚知～病院収容(全国平均)	39.4	39.4	39.4	39.3	39.5	39.5	40.6	42.8	47.2	-

救助統計

- 令和5年救助概要
出動件数 : 83件
活動件数 : 50件
搬送人員 : 54人



令和5年の数字は、

16%

西条市では、石鎚山系の山々を管轄しており、昨今のアウトドアブーム等の影響により登山者の増加がある中で、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で山岳遭難救助事案(13件)が発生しています。

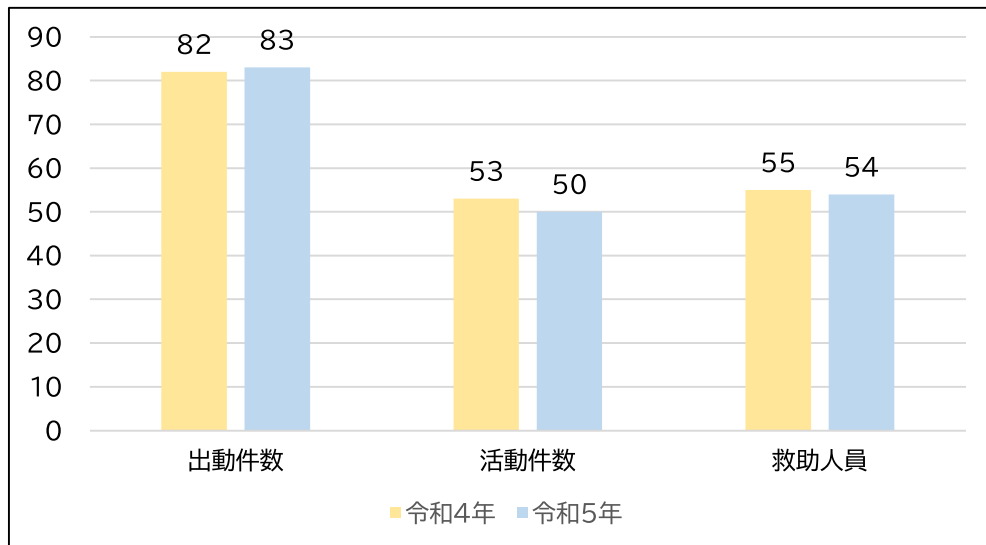
自らの力を過信せず、十分な登山計画を立てて、登山等を楽しんでください。

出動件数83件の内、山岳救助件数13件で16%

【令和5年 西条市救助統計】

1 救助概要

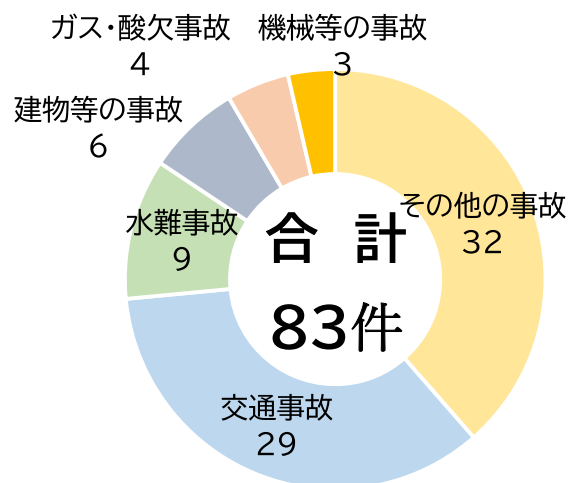
令和5年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数83件(前年比1件増)、救助活動件数50件(前年比3件減)、救助人員54人(前年比1人減)となっています。



2 救助活動状況

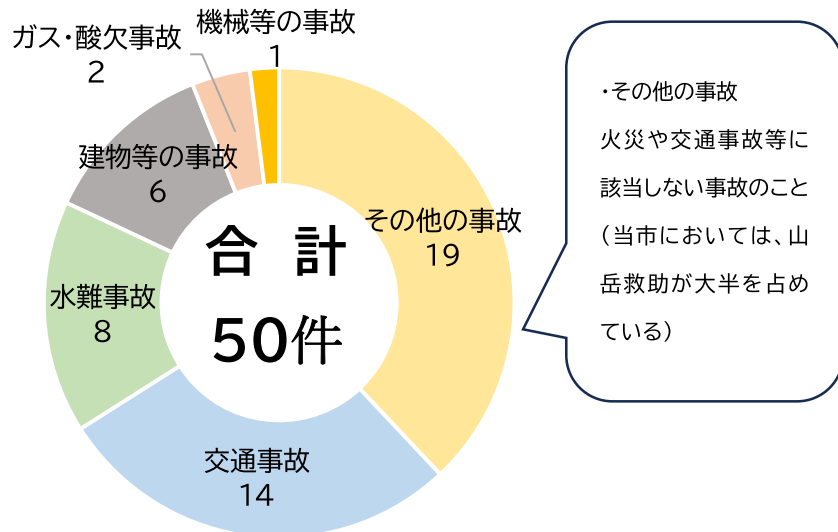
(1) 事故種別救助出動

事故種別ごとに救助出動状況を見ると、出動件数で最も多いのは、その他の事故32件(38.6%)、次いで交通事故29件(34.9%)、水難事故9件(10.8%)、建物等の事故6件(7.2%)、ガス・酸欠事故4件(4.8%)、機械等の事故3件(3.6%)の順となっています。



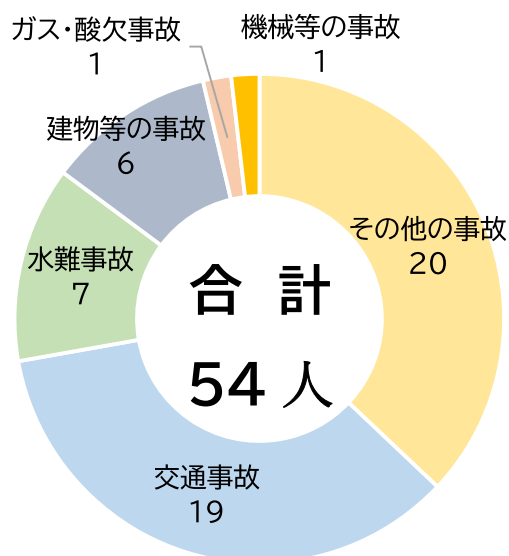
(2) 事故種別活動件数

活動件数で最も多いのは、その他の事故で 19 件(38%)、次いで交通事故 14 件(28%)、水難事故 8 件(16%)、建物等の事故 6 件(12%)、ガス・酸欠事故 2 件(4%)、機械等の事故 1 件(2%)の順になっています。

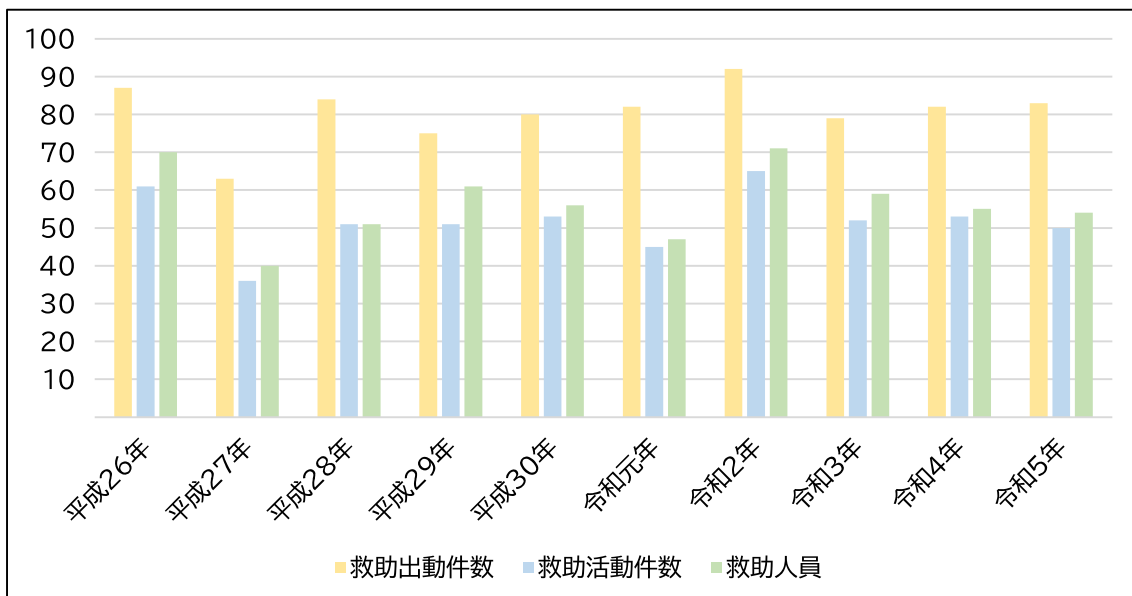


(3) 事故種別救助人員

事故種別ごとの救助人員状況を見ると、最も多いのは、その他の事故 20 人(37.0%)、次いで交通事故 19 人(35.2%)、水難事故 7 人(13.0%)、建物等の事故 6 人(11.0%)、ガス・酸欠事故 1 人(1.9%)、機械等の事故 1 人(1.9%)の順となっています。

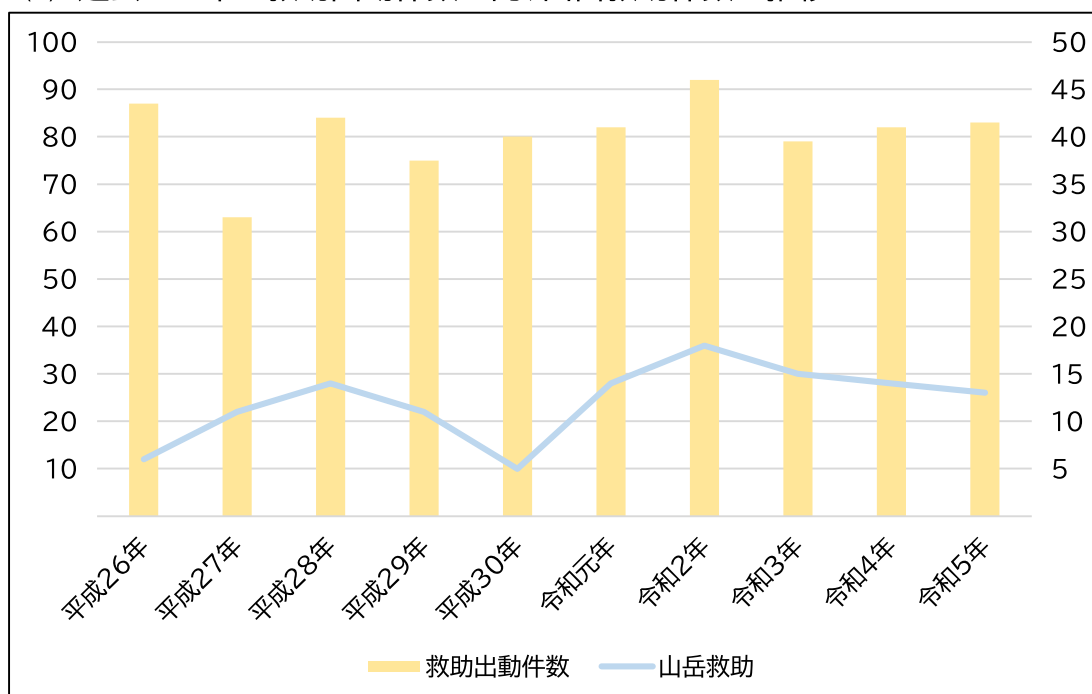


(4) 過去 10 年の救助出動件数及び救助活動件数、救助人員の推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救助出動件数	87	63	84	75	80	82	92	79	82	83
救助活動件数	61	36	51	51	53	45	65	52	53	50
救助人員	70	40	51	61	56	47	71	59	55	54

(5) 過去 10 年の救助出動件数の内、山岳救助件数の推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救助出動件数	87	63	84	75	80	82	92	79	82	83
山岳救助件数	6	11	14	11	5	14	18	15	14	13